

講座参加者の声

公民館では、年間を通してさまざまな主催講座を行っています。
今回は講座に参加された方々にいただいた感想をまとめました。
参加していない方にも、講座参加者の声から学びを味わっていただけたら嬉しいです。

2026年2月20日（金）～
3月22日（日）開催
「くにたち
まちじゅう本棚2026」
～まちじゅう、みんなで
本をシェアしよう関連イベント～



次の読み手を持つ本たち（旧国立駅舎）



どんな本に出会えるだろう……
（公民館に設置された本棚）

昨年度から始まった「くにたちまちじゅう本棚」のイベント。

今年も市内5か所に設置された本棚に読まなくなった本を持って行ったり、誰かが持ってきた本と交換したりするなかで、今まで目に留めなかったような本との出会いの場が生まれました。

イベント期間中に公民館では、ドキュメンタリー映画上映会『まちの本屋』&上映会後ミニトーク、『あの日、小林書店で。』（PHP 研究所）の著者の川上徹也さんによる講演会、閉室後の夜の図書室で好きな本を探しておしゃべりする「くにたちナイトライブラリー」が開催されました。

まちの本棚

上嶋 藍

人の本棚を見るのは、楽しい。

人の家にお邪魔した時など、じっくり見入ってしまう。雑誌『BR

UTUS』でもたまに、著名人の

本棚特集があるけれど、その人が

日頃、どんなことに興味を持って

いて、どんなことを考えているの

かなど、その軌跡や内面がちよっ

と垣間見られた気がする。

だから、公民館や旧駅舎の一角

に置かれた「まちじゅう本棚」の

中を見るのは、顔も知らないまち

の人たちの、少しずつ寄せ集まっ

た内面がミックスされているよう

で、一層面白い。例えば、スイス

人劇作家の全集、絵本トーマス

うや、株式投資論、染色入門。そ

れらがひととき棚を共有している

どんなふうに取り入れ、どんな

ふうに読まれたのか。そしてまた、

どんな人が持っていくのかと、想

像するのも楽しい。

気軽に手に取って持つて帰り、

読み終わったら返せばいい。気に

入ったなら自分の本棚に加えられ

いい。文教都市を体現するなら、

きつとこんな感じではないだろう

か。文化資本や学びのきっかけが、

今よりもっとまちなかの、生活に

近いところに向こうから近寄って

来てくれる。そこに参加するもしないも、関わり方も自由。自然で心地いい関係。そこからまた、何か新しいことが生まれたりする。

今回、友人がまちじゅう本棚の企画運営に携わっていた縁で、「ナイトライブラリー」という連携イベントに関わらせてもらった。夜の公民館で好きな本を紹介し合う、言ってみれば自分の本棚の一冊を見せ合う会。ほぼ初対面なのに、本を介するだけで自然と自分の内側をシェアしたくなるから不思議だ。いつもと違う、ランプの灯った公民館ロビーの雰囲気や、喫茶わいがやさんのコーヒー&クッキーの効果もあったかもしれない。

さて、今年のまちじゅう本棚から私がお迎えしたのは、アリス・ウォータースの『スローフード宣言』（サンプル版）と、レシピピ付きの園芸本『サラダガーデン』。あら、どちらも食べること。



ランプの灯の中、
緩やかに語り合います
（ナイトライブラリー）

2026年1月25日(日)～
3月1日(日) 開催【全3回】
〈シリーズ戦後80年〉語り継ぐ戦争
～被爆者からあなたに、戦後80年をこえて～
講師：栗原 淑江・中尾 詩織
(NPO 法人ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会)
コーディネーター：
根本 雅也 (一橋大学)

「今こそ考えたい戦争と平和」に参加して

畑 幸博

私は2歳から中学2年まで広島で暮らし、戦後の平和教育を受けて育った世代です。昨年12月に数十年前かぶりで広島平和記念資料館を見学する機会を得て、そこで色々思うことがあり、丁度いい機会なのでこの講座に参加しました。

日本原水爆被害者団体協議会が結成されて70年。ノーモア・ヒバクシャを合言葉に、被爆者自らが想像を絶する経験、傷ついた心と身体をさらけ出し世界に向けて声を上げ続けた結果、ノーベル平和賞に結びつきました。戦後80年を迎え、被爆者の声を直接聞くことが難しくなりつつある今、わ



世代を超えて熱心に話し合い

たしたちはその思いをどう受け止め、未来へつないでいくことができるのでしょうか。

今回の講座では半分の時間で講義があり、その後3～4人のグループでディスカッションをするという形でした。自己紹介をした後、議題に沿っての議論を熱くはじめに話し合うことが出来ました。被爆者体験伝承の意味、継承者の苦労話、国民の戦争責任、国家賠償の在り方等、皆さん色々な経験を踏まえて真剣に取り組み、日ごろの生活では考えられない異世代交流の体験が出来ました。通常の講座では講義主体で最後に質疑応答が少しある程度ですが、今回は参加者同士の議論が主体で皆積極的意見を出し合い、時間が足りないほどで、まさに「目からうろこが落ちる」ような思いでした。混乱を極める現在の世界情勢を

目の当たりにして、「戦争をしないさせないために何ができるか」今の私にとって大きな課題です。

◆講座担当者から

「ともに考える時間にしたい」という想いから連続講座を企画しました。参加者の皆さんは熱量が高く、ノーモア・ヒバクシャの願いを自分事として受け止め考える時間となりました。

2026年1月13日(火)～
2月24日(火) 開催【全8回】
地域で日本語支援をしたい人のための
日本語教育入門
講師：山形 美保子
(東京日本語ボランティア・ネットワーク)
ムラドリ アイダン
(一橋大学大学院言語社会研究科修了生)
庵 功雄・志村 ゆかり
(一橋大学)・(津田塾大学)

優しい気持ちと 易しい伝え方

N-I-K-O

私は行政機関で働いており、外国にルーツを持つ方々と接することが時折ある。日本人ですら理解が難しい制度を、日本語の不得手な方々に説明する困難さ。申請・

契約書類などを作成するハードルの高さ。時には通訳者や翻訳機械を介しての説明は、どこまで伝わったのか、相手の相談に答えられているのかという不安がぬぐえない。言葉の壁を感じると共に、母語ではない国で働き生活する方々の大変さを何度も感じてきた。

そんな経験を通じて、外国人に日本語を教えるボランティアをしてみたいと思うようになり「日本語教育入門」に申し込んだ。

講座は全8回あり、日本語ボランティアの役割や日本語教育のための文法を学んだ後、ボランティアの実践演習を行った。最終回は実際に日本語を学ぶ外国人の方が練習相手になってくださり、学びを深めた。また、日本語学習者の立場を理解するため、アゼルバイジャン語という前提知識のない外国語を学ぶ体験を行う等、非常に充実した内容だった。この講座を通して私は「やさしい日本語」という取り組みを初めて知った。

「やさしい日本語」とは「言葉のレベルや文章の長さに配慮し、相手に伝わることを意識した日本語」のことである。阪神・淡路大震災で避難指示等を理解できず、多くの外国人が被災したことを機に始まった取り組みだそうだ。例えば「土足厳禁」は「靴を脱いで

ください」と言い換える。一見簡単そうだがチャレンジすると難しく、日本語を意識的に使う必要がある。けれども多くの外国人が日本で暮らす現在、多言語対応には限界があり、「やさしい日本語」を介しての情報提供やコミュニケーションは、日本人と外国人が理解し合い地域で暮らす方法としてとても有効であると感じた。

今回の学びを仕事や生活で生かしながら、今後は日本語ボランティアにチャレンジしていきたいと思う。



最終回では外国人ゲストの方にロールプレイやフリートークをしていただきました

◆講座担当者から

日本語ボランティアの方々には外国ルーツの方にとって地域での大勢なつながり、支えとなっています。こうした講座が多様な人々が暮らしやすい地域づくりのきっかけになれば幸いです。

	事業テーマ	開催時期
①現代社会の課題を考える	ジェンダー	7月～
	多文化共生	7月～
	近現代史	8月～
	平和	8月～
	教育	8月～
	性教育	9月～
	グリーンケア	9月～
	憲法	10月～
	人権	11月～
	環境	12月～
②共生の地域社会を育む	情報科学	1月～
	生活のための日本語	通年開催
	にほんごサロン／KUNIBO	通年開催
	学習支援(LABO ☆くにスタ)	通年開催
	シルバー学習室	通年開催
	青年室活動(コーヒーハウス)	通年開催
	しょうがいしゃ青年教室	通年開催
	女性のライフデザイン	5月～
	身体表現(しょうがいしゃと共に)	5月～
	親子で遊ぼう考えよう	5月～
	共生社会(リカバリーの学校)	6月～
	子育て	7月～
	青年講座	9月～
	男性対象(料理)	9月～
	日本語教育入門	1月～

※内容・時期は変更の可能性があります。

	事業テーマ	開催時期
③まちを知る、地域から学ぶ	緑化活動	通年開催
	公民館の歴史(公民館だより)	7月～
	地域史	9月～
	健康	9月～
	社会教育学習会	10月～
	社会教育施設三館連携	10月～
	一橋大学院生講座	10月～
	地域防災	11月～
	自然(野鳥観察)	12月～
	一橋大学連携講座	2月～
④社会をみつめ、文化をつくる	園芸	3月～
	図書室のつどい	通年開催
	くにたちブッククラブ	通年開催
	映画会	通年開催
	古典	5月～
	シネマトーク	6月～
	文化・芸術	9月～
	哲学	10月～
	現代詩	10月～
	音楽	12月～
⑤表現と創作を楽しむ	作家と作品	3月～
	銅版画	7月～
	文章表現	9月～
	短歌(子育て)	9月～
	市民文化祭	10月～

2026(令和8)年度 公民館講座・事業年間予定

公民館では5つのテーマに基づき、各分野で主催講座を企画・実施しています。毎月の公民館だよりをご確認いただき、ご興味のある講座にぜひご参加ください。

はじめての銅版画

— Etching Work Shop —

講師 山本 佳奈枝(銅版画家)
さかた きよこ(銅版画家)

興味はあるけど、難しそう? どうやって作るのかな? そんな疑問に応えながら銅版画創作を楽しむ、初心者向けのワークショップです。

銅版画ならではの繊細な線で小さな作品を創ります。集まった仲間とともに作業の時間を楽しみながら、作品を創ってみませんか。出来上がった作品はロビーで展示する予定です。

銅版画(エッチング)とは、銅板に描いた絵を腐蝕させて版を作り、できた凹部にインクを詰めて紙をのせ、プレス機で刷って作る版画です。

と き 7月19日、8月2日、23日、30日
いずれも日曜日 昼2時～5時

ところ 公民館 3階集会室・実習室
※初回は集会室へお集まりください。

定 員 10名(申込先着順)
対 象 原則休まずに出席できる方、市内在住・在学・在勤の方、はじめて参加する方を優先。
材料費 2,000円(ニードル、銅板、版画紙など)
※初回に集金します。お釣りの無いようにお持ちください。
持ち物 8×10cmの下絵(タテヨコ自由)、エプロン(よごれてもよい服装)、筆記用具
申込先 6月25日(木)朝9時～ 電話で公民館へ



昨年度の作品

〈図書室のつどい〉 文化の脱走兵

お 話 奈倉 有里(ロシア文学研究者、早稲田大学講師)

文化とは、人と人とがわかりあうために紡ぎだされてきた様式のこと。戦争はこの「文化」を一瞬にして崩壊させてしまう、と奈倉さんはおっしゃいます。

戦う勇気ではなく、逃げる勇気を。戦争が身近に感じられる現代社会のなかで、自分に何ができるか悩んだり迷ったりしたとき、よりどころになる考えはどこにあるのでしょうか。

第76回読売文学賞(随筆・紀行賞)・第2回生きた本大賞などを受賞し、さまざまなメディアから注目されているエッセイ集をもとに、わたしたちが“いま”に向き合うためのヒントを得る時間にしたいと思います。

〈奈倉さんの本〉表題作、『背表紙の学校』(講談社)ほか

と き 7月12日(日) 昼2時～4時

ところ 公民館 地下ホール

定 員 70名(申込先着順)

申込先 6月12日(金) 朝9時～

電話または申込フォームより



第11回くにたち市民文化祭 開催期間が決まりました！

今年のくにたち市民文化祭の開催予定期間が決まりました。今年も25組を超える団体が参加予定です。

文化祭の参加申込は次回実行委員会まで受け付けていますので、参加希望の団体は公民館にお問い合わせください。

◆開催予定期間 令和8年10月17日(土)～11月29日(日)

◆実行委員長 西江 勇二(くにたち国際友好会 WING)

◆次回実行委員会

と き 6月25日(木) 夜7時～

ところ 公民館 地下ホール

問合先 電話で公民館へ

◆市民文化祭イベント

昨年好評でした旧国立駅舎でのイベントを、今年も開催します。 ▲昨年の文化祭の様子

各参加団体の展示・パフォーマンスを現在企画中です。

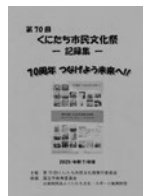
と き 9月11日(金)～17日(木)

ところ 旧国立駅舎

◆第70回文化祭—70周年 つなげよう未来へ!!—

記録集ができました

昨年の文化祭に参加した団体が催しの成果を報告しています。市内で文化・芸術活動をしている方々の、文化祭での写真も多く掲載されています。問い合わせは公民館まで。



シネボックス
〈CINEVOX シネマトーク〉

『華麗なるヒコーキ野郎』

The Great Waldo Pepper

アメリカ 1975年 カラー 108分 ※DVD版

監督・製作・原案 ジョージ・ロイ・ヒル

出演 ロバート・レッドフォード、ボー・スヴェンソン、スーザン・サランドン、ボー・ブルンディンほか

『明日に向かって撃て!』『スティング』のロバート・レッドフォードとジョージ・ロイ・ヒル監督の黄金コンビが贈る、曲芸飛行に命を賭ける誇り高き飛行機乗りたちの、大空への夢とロマンを爽やかに謳い上げた快作。ロバート・レッドフォードは飛行機によるアクション場面を、トリック撮影やスタントマンによる吹き替え一切無しで、すべて自ら演じ切った。

〈シネマトーク〉

「映画を夢見て、演じ、作り、育てた！」

—ハリウッドの反骨スター ロバート・レッドフォード—

北里宇一郎(脚本家)

上映終了後、脚本家の北里宇一郎さんに、俳優だけでなく監督・製作者としても多大なる功績を残したロバート・レッドフォードの魅力についてお話をうかがいます。

と き 6月28日(日) 昼2時～5時頃(開場昼1時半)

ところ 公民館 地下ホール

定 員 70名(申込先着順)

申込先 6月9日(火) 朝9時～

電話または申込フォームより

*事前申し込み制となっています。必ず電話、窓口、申込フォームのいずれかの方法にて事前にお申し込みください。



公民館の緑化日記

緑化ボランティアを始めとする様々な方の丹精込めたお世話のおかげで、バラがとてもきれいに咲きました。

アンネのバラ
(公民館入口前)

市民からの寄贈により株が増え、より華やかになりました。



ピエール・ド・ロンサール
(公民館南側)

一期咲きのため、散ったら今年はまだ咲かない……。桜のような儚さがある人気のバラです。



くにたち公民館70周年記念誌 『ともに学ぶ—今日もここから学びが生まれています—』 の発行と 「70周年記念誌を読む会」のお知らせ

「70周年記念誌を読む会」を開催します

70周年記念誌は、市民有志と公民館職員とで作成しました。記念誌を作成した市民、様々なかたちで記念事業に関わった市民とともに、記念誌を片手にそれぞれの想いを語り聴き、感想などを分かち合う「70周年記念誌を読む会」を行います。

すでにじっくり読んでいる方も、これから手に取る方も、70周年の取り組みをともにふり振り返り、公民館の歴史や展望についてざっくばらんに語り合しましょう。

と き 7月17日（金）夜7時～9時
ところ 公民館 3階講座室
定 員 30名（申込先着順）
申込先 6月16日（火）朝9時～
電話または申込フォームより



記念誌の構成

- 第1章 70周年記念イベントの記録
- 第2章 公民館70年の歴史の中から
- 第3章 公民館70年目の未来を拓く
- 第4章 資料編



記念誌を希望者に配布しています

2025年度は、国立市公民館開館から70周年にあたる節目の年でした。市民有志の「公民館70周年事業をともに考える会」とともに、記念事業のテーマを「ともに学ぶ」と決めて、様々な企画を検討・実施しました。

そのうちの一つの取り組みとして実施した70周年記念誌が完成しました。記念誌には、ゴリラ研究で著名な国立市出身の元京都大学総長・山極壽一さんや、公民館で20年以上にわたり哲学講座の講師を務めてこられた哲学者・長谷川宏さんによる記念講演、記念式典や市民によるリレートークなどの記録、1960～2000年代の「くにたち公民館だより」を読むつどいの活動や展示の記録、公民館に長く関わる市民へのインタビュー、70年のあゆみを一覧できる年表などを掲載しています。

公民館2階窓口にて無償配布していますので、ぜひ、お手に取ってご覧ください。



▲山極壽一さん
(2025年10月12日記念講演)

〈くにたちブッククラブ〉 —なぜ、その道を選んだのか— 羽田圭介『スクラップ・アンド・ビルド』 (文春文庫)

講 師 深津 謙一郎（共立女子大学・日本近代文学）

5月から、8回にわたり様々な日本の文学作品を味わう「くにたちブッククラブ」を実施しています。

講座では、参加者の感想を全体で共有し、講師から作品の解説をしていただきます。年間通しての参加はもちろん、今回だけの参加も大歓迎です。

と き 6月11日（木）夜7時半～9時半
ところ 公民館 3階講座室
定 員 30名（申込先着順）
※参加者多数の場合、市内在住・在学・在勤の方を優先することがあります。
申込先 電話またはホームページより
※年間のスケジュールなど、詳しくはホームページをご確認ください。



▲ホームページ

2025年度〈くにたちブッククラブ〉 文集ができ上がりました



くにたちブッククラブではその年度の締めくくりとして参加者のみなさんと文集を作っています。おかげさまで、昨年度も無事発行することができました。

文集では、取り上げた作品についての参加者の感想文や講師による講義録を収録しています。今回は、講師の深津謙一郎さんによる「【講義録】小山田浩子『工場』を読む」を掲載しているほか、森鷗外『舞姫』、有吉佐和子『青い壺』、村田沙耶香『コンビニ人間』など、昨年度取り上げた作品についての感想文を掲載しています。

文集は、無料配布もしています（数に限りあり）ので、ご入用の方は、公民館2階窓口にてお声がけください。公民館図書室でも閲覧ができます。ぜひご覧いただき、参加者それぞれの自由な「読み」に触れていただければと思います。



公民館のQ & A

このコーナーでは、公民館についての疑問に答えます。
今回は、あまり知られていない「貸出備品」について、
ご案内します！

Q 公民館では、どんな備品が借りられますか？

A 公民館内の会議や学習会等で使うことができるワイヤレスマイクアンプ、プロジェクター、スクリーン、ノートパソコン、ブルーレイ・DVDプレイヤー、液晶モニター、延長コードなどを貸し出すことができます。音楽関係では、ピアノ（ホールと音楽室備え付け）、CDラジカセ、譜面台、メトロノームなども利用できます。

Q ボードゲームなども借りられますか？

A 囲碁の盤と碁石、将棋の盤と駒を貸し出すことができます。1階市民交流ロビーにて、2人で使用することも可能です。この4月からは、健康マージャンの牌と手打ち用マット(2セット)の貸し出しも開始しました。

Q 公民館に健康マージャンができる部屋はありますか？

A 健康マージャンは、テーブルの関係で現在は小集会室と和室のみ、2卓(計8人)までなら対応可能です。あくまで健康マージャンとして、「かけない・のまない・すわない」を前提に、使用してください。

2025(令和7)年度 公民館の施設利用状況について

公民館は社会教育施設として、市民等で構成されるグループや団体に会場を無料で貸し出しています。活動目的や人数に応じて、大・中・小の集会室、講座室、ピアノのあるホールと音楽室、調理のできる実習室、着付けや茶道のできる和室の8つの部屋があります。

■令和7年度時間別会場利用率(単位%)

会場 (定員)	ホール (85名)	音楽室 (20名)	集会室 (30名)	講座室 (35名)	中集会室 (20名)	小集会室 (10名)	和室 (20名)	実習室 (10名)
時間帯								
午前	88.7	87.0	69.8	72.4	77.7	67.9	67.8	56.8
午後	87.3	84.7	77.7	77.7	79.8	71.3	69.5	67.6
夜間	88.9	70.8	54.6	38.4	40.7	25.8	25.8	27.6

(注)利用率の算出処理上1日の利用時間を、午前・午後・夜間の3区分に整理。1区分に複数回の利用があっても1回分の利用とみなして回数を算出し、この数を年間延べ開室回数で割り、利用率を算出している。

地下のホールと音楽室の利用率は、午前から夜間にかけて7～8割程度と高く、合唱や音楽、ダンス、体操等の活動で多くのサークル・団体に利用されています。

一方、3階の各部屋の夜間帯は、近年利用率が低くなっており、17時以降に活動場所を探しているサークル・団体は、公民館の会場が予約しやすくなっています。

〈くにたちジェンダー平等月間関連企画〉

「両立」とは何か

～ドラマ・マンガから考える家事とジェンダー～

講師 河野 眞太郎 (専修大学)

今回はジェンダー講座として、家事・育児・介護といったケア労働と仕事の「両立」をジェンダーの視点から捉え直します。近年、「じゃあ、あんたが作ってみろよ」や「ヒヤマケンタロウの妊娠」などケア労働テーマにしたドラマやマンガが注目されています。本講座では、これらの分析を通じて、現代社会におけるケア労働の不可視性を考え、「両立」という言葉の前提を問い直します。日常の中の当たり前を見つめ直し、自分の生活や価値観を考える機会とします。



講師の河野さん
撮影：石井真弓

〈河野さんの本〉

『新しい声を聞くほくたち』(講談社)、『この自由な世界と私たちの帰る場所』(青土社)、『増補 戦う姫、働く少女』(ちくま文庫)、『ぼっちのままで居場所を見つけるー孤独許容社会へ』(ちくまプリマー新書) ほか

と き 7月5日(日) 朝10時～12時
ところ 公民館 地下ホール
定 員 70名(申込先着順)
申込先 6月11日(木)朝9時～
電話またはホームページより



〈多文化共生講座〉

ドキュメンタリー映画の上映&監督トーク 「もう一つのふるさと」 ー移民・難民と生きるドイツの今

北ドイツ・ブラウンシュバイク市で暮らす移民・難民の姿を追った短編ドキュメンタリー映画を上映します。ニュースや統計では見えてこない、一人ひとりの顔と声。移民をめぐる社会の空気が変わりつつあるいま、人々はどう生き、何を感じているのか。

お 話 國本 隆史 (映画監督)

上映後は、ドイツ在住14年の監督(国立市出身)を囲んでのトーク&ディスカッションを予定しています。「移民問題」を遠い話にしないために、一緒に考えてみませんか。

と き 7月10日(金) 夜7時～9時
ところ 公民館 1階市民交流ロビー
定 員 30名(申込先着順)
申込先 6月10日(水)朝9時～
電話または申込フォームより



ひろば

(8ページにもあります)



カワセミ、求愛成就 / 餌・クチボソを献上 (雌⇄雄)
撮影 和賀一
(フォトサークルくにたち)

水泳「とびうお」会員募集

猛暑に向かい、健康維持、体力増進に温水プールで男性女性、楽しく元気に泳ぎましょう。女性の公認コーチがレベル別に指導いたします。無料体験水泳可。

日時 毎週火曜日 昼12時～2時
場所 F.S.Xアリーナ室内プール
連絡先 今野042(571) 3957

ソフトテニスへのお誘い

ウィークデイを中心に楽しい汗を流しています。日頃の運動不足とストレスを解消し、一緒にテニスをしませんか。男女問わず経験者大歓迎です。国立スピカ

日時 毎週(火)谷保、(木)広場コート
場所 市内の各テニスコート
連絡先 野和田080(1754) 3496

和弓をひいてみませんか！

和弓は姿勢を良くし、集中力を養い誰にでもできるスポーツです。初心者も会の道具を使えます。見学歓迎。会費一回500円。詳細は夜6時以降電話を。くにたち弓友会。

日時 毎週(土)又は(日)の午前中
場所 昭島市弓道場(東中神駅)
連絡先 長谷川042(576) 1489

フットサルチーム「ソラーナ」

市内で活動中の男女エンジョイサークルです。20～60代まで幅広い年代で毎週汗を流しています。熟年指導者によるサポート有り。お気軽に体験等からご連絡ください。

日時 毎週日曜日 昼3時～6時
場所 市内小学校体育館
連絡先 磯080(3258) 6711

和おどり「蝶の会」会員募集

国立音頭など盆踊り定番曲やナツメロ、最近の流行曲を取り入れ盆踊りをしています。市民まつり、文化祭や他行事にも参加。

市内在住60才以上の方。会費無料。
日時 第1・3木曜日 昼1時半～
場所 福祉会館 2階大広間
連絡先 星野090(2324) 0425

グリーンコーラス(混声合唱)

楽しく歌ってストレス発散!! 楽譜が読めなくても大丈夫!! 6月から新しい曲が始まります。今しもピアノが弾けたなら」等を練習しています。健康づくりに!!

日時 第2・4水曜朝10時～12時
場所 公民館 地下ホール
連絡先 権田090(3687) 4066

合同いけ花の会 メイト募集

いけ花を始めてみませんか。今月は草月流の体験会をします。気軽に申し込みにください。花代3千円。

日時 第2・4木曜 昼1時半～
場所 公民館 集会室
連絡先 石原080(4819) 1302

*「ひろば」掲載
写真募集中*



国立市内の風景や行事などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

ー8月分(ロビー9月分)の会場調整会のお知らせー

申込書のポスト投入期間	6月6日(土)～6月25日(木)
予約の重なりのある団体の掲示開始日(国立市 HP にも掲載)	6月27日(土) ▶重なり状況
会場調整会	7月4日(土)朝10時～ 会場：地下ホール

※会場調整会当日は朝10時までに受付してください。

公民館運営審議会報告

5月12日(火)第35期第19回定例会を開催。委員12名、職員3名出席。傍聴人7名。

新任委員委嘱、挨拶

国立市立小・中学校副校長会より推薦の大貫委員が異動のため3月で退任。後任の山本委員に委嘱、自己紹介。

公民館新任職員挨拶 新任の異動職員1名より自己紹介。

前回議事録確認

前々回は3月末開催で議事録が未完成だったため、今回は過去2回分の議事録の修正を確認。

報告事項

○公民館だより編集研究委員会、

審議事項

東京都公民館連絡協議会について。○東京都公民館連絡協議会総会は4月22日(水)国分寺市立本多公民館にて開催。令和7年度の事業報告、一般会計決算、特別会計の承認ならびに令和8年度予算及び役員についての承認があった。

○館長諮問「サークル活動をはじめとする公民館利用拡大に向けた方策について」の答申作成に向け、定例会以外に行っているミーティングについて、サークル活動分科会、講座分科会、国立市公民館・公民館運営審議会の歴史に関する分科会より、資料、口頭により報告、及び質疑応答。

次回6月9日(火)夜7時15分から講座室。傍聴歓迎。(朝山)



今月の公民館 (6月～7月)

6月11日（木）夜 くにたちブッククラブ
羽田圭介『スクラップ・アンド・ビルド』

28日（日）昼 シネボックス CINEVOX・シネマトーク
『華麗なるヒコ〜キ野郎』

7月5日（日）朝 ジェンダー講座
『『両立』とは何か〜ドラマ・マンガから考える家事とジェンダー〜』

10日（金）夜 多文化共生講座
ドキュメンタリー映画の上映&監督トーク
「もう一つのふるさと」―移民・難民と生きるドイツの今

12日（日）昼 図書室のつどい『文化の脱走兵』

17日（金）夜 70周年記念誌を読む会

講座の開催状況などに変更があった場合は、公民館入り口付近への掲示や、ホームページでお知らせします。ご不明の点はお問い合わせください。

公民館 ☎042 (572) 5141



▲講座等の案内

ひろば



朗読劇こだまへのお誘い

みんなでひとつの物を作り上げていくので喜びを一緒にわかちあうことができます。プロの講師にご指導をいただきます。ご一緒に楽しみませんか。体験無料。

日時 6月12日(金) 朝10時～12時

場所 公民館 集会室

連絡先 吉澤080 (5483) 2095

加害者としての戦争を語る会

沖繩戦でなぜ沖繩の住民がスパイ視され殺されたのか？ 高市政権が狙う「スパイ防止法」の歴史の経験を関東学院大学名誉教授の林博史さんと検証する。無料。

水彩画「パレット」作品展

サークル会員による第20回作品展を開催します。プロの講師指導のもと楽しみながら描いている作品です。どうぞご覧ください。

日時 6月13日(土)～20日(土)

スペースF学習会

日本政府によるスパイ・監視と
対抗するために一人でもできる
ことから仲間と一緒にできること
まで。講師としまるさん(JCA
INET)資料代500円。要予約。
日時 6月27日(土) 夜6時~
場所 公民館 地下ホール
連絡先 石原070(502)5553

くにたち国際友好会WING

6月の国際理解講座は、一橋大学にこの春から短期留学中のアンナさんとハナさんのお二人に、デンマークのお話をさせていただきます。

日時 6月28日(日) 夜7時～9時

場所 公民館 講座室&Zoo m

連絡先 西江070 (9020) 7838

滝乃川学園の歴史に学ぶ会

久しぶりに七月例会を、津曲裕次先生による講話・主旨『明治20年代の知的障害者処遇の背景と学園の発足を考える』で予定です。

テキストは学園120年史32～37頁。

日時 7月4日(土) 昼1時～4時半

場所 石井亮一・筆子記念館講堂

連絡先 河尾080(1176)1252

「サークル訪問」

取材希望団体募集中！

下の記事のように、公民館だよりに活動の様子を取材させてくださるサークルを募集しています。お問い合わせは公民館2階窓口まで。

〈サークル訪問416〉
喫茶「想い出」

昔の写真を、持ち寄って おし
やべりティータイム——今回取り
上げる「喫茶『想い出』」のキャ
ッチフレーズだ。

日曜日の昼下がり、小集会室に集まったのは、参加者4人と主宰者3人、筆者の計8人。参加者はメンバーではなく、HPを見て来た人たちだ。喫茶店のようにカップでコーヒーを飲みながら、ゆとりと始まる。参加者の一人が持つ

て来た古いアルバムにあった婚禮写真がスクリーンに映し出される。「さあ、何の写真でしょう」と主宰者。「昔は結婚式も葬式も家でやった」「大広間にお膳」「昔の家は廊下の突き当りにトイレがあった」などなど。初めて見る写真を見ながら、思い思いに言い合う。年齢も育ちも違う人たちが、自身の記憶を頼りに話が盛り上がる。

主宰者が持参した人に「何の写真ですか」と問うと、「これは父方のおばの結婚式の写真」という。答えとともに、写真にまつわるストーリーが語られる。町の名前が出ると、主宰者がすぐさまPCで検索して、町の歴史、その町のストリートビューが投影される。他人の一枚の写真が、急にぬくもりを帯びる。

「ファウンドフォト」という誰



古い写真から記憶が目覚め、
誰かと話したくなる

〈文・写真 公民館だより

編集研究委員 中井一人

odagawa@dagarossi.com



が撮ったかわからない写真を見
再解釈する写真表現のジャンルが
あるそうだが、そんな概念をよそ
に、「写真を元におしゃべりを楽し
む。」思い出すのは大事なこと「気
分が若返る」と参加者は一様に、
とてもいい集いだと言う。「認知症
予防にいいかも」と語るのは、フ
レイルサポーター資格を持つ人だ
6月9日から15日まで旧国立駅
舎で、これまで取り上げた写真や
写真に宛てた手紙を展示する。ま
た14日には、「想い出」をその場
で実演するイベントも予定されて
いる。

過去にひたるのではなく、写真を元に「脳トレ」のような、刺激的な時間を共有できる集まりだ。

日時 毎月1回 喫茶「想い出」HP (<https://omoid-space>) に開催日時を掲載 参加自由

場所 (主に) 公民館